

お知らせ

記者発表資料

令和7年 2月28日

■同時発表先：

合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

インフラの未来を拓く、DXを加速！

～中国地方整備局インフラDX推進計画2025策定～

<概要>

国土交通省中国地方整備局では、担い手が不足する中でも、質の高いインフラ整備や公共サービスの提供、安全・安心な暮らしの実現、老朽化が加速する社会資本に対して、持続可能なインフラメンテナンスの実現を目指して、インフラDX推進計画2025を策定しました。

中国地方整備局インフラDX推進計画2025では、以下の4つの目標に向けて、重点的に取り組みを進めていきます。

- (1) BIM/CIM活用による生産性の向上
- (2) i-Construction2.0の実現
- (3) 管理の高度化・効率化、AIの活用による行政サービスの向上、業務改善
- (4) 激甚化・頻発化し、猛威を振るう自然災害への対応

これまでのインフラDXの取り組み状況や推進計画2025のポイントなど、ナレーション付き動画で分かりやすく解説していますので、是非ご視聴下さい。

中国地方整備局インフラDX推進計画2025では、取り組みが目指す姿(ビジョン)を描くことで、整備局のみならず建設業界全体で、目標に向かって推進していきます。

<中国地方整備局インフラDX推進計画 掲載URL>

<https://www.cgr.mlit.go.jp/kikaku/dxplan/index.html>

<問い合わせ先>

国土交通省中国地方整備局 企画部 技術管理課

TEL (082) 221-9231 (代表) (平日昼間)

【担当】

企画部 工事情質調整官 藤原 功 (内線3130)

企画部 技術管理課 建設専門官 新田 紀明 (内線3318)

中国地方整備局のインフラDX取組 事例

技術を広げる取組

○ 建設現場のDX取組みとして様々な新技術などを紹介

- ・ 様々な企業の新たな取組みや新技術をカタログ化し、HP等で紹介することで技術の導入促進を図る。
- ・ DXセンターのフィールドを活用し、注目の建設機械等の操作体験により、新たな技術の普及を図る。

独自取組

チルトローテータによる省力化



これまでバックホウで掘削できなかった箇所(人力作業)でもバケット向きを変えられるため、掘削が可能となった。



施工状況



施工完了

オペレーターは3次元データを確認しながら安全に作業を行い工程を **15日⇒7日間に短縮**

令和5年度 広島南道路明神高架橋第14下部工事 (株加藤組)

バックホウの遠隔操作による安全で快適な環境での操作



自律4足歩行ロボットによる省力化



令和5年度 広島西部山系山本9号砂防堰堤外工事 (宮川興業(株))

建設用3Dプリンタ活用による省人化



令和5年度 三篠川丁地区築堤護岸他工事 (株鴻治組)